

スペシャルキッズの会

予約の必要はありませんので当日お越しください。

★時間：10:30～12:00(今回は交流会のため時間がいつもより長くなります) ★参加費なし

★会場：サンマルシェ南館地下一階 NPO法人あっとわん内

2月26日(水) 平成25年度のスペシャルキッズの会ミニ講座

「第3回児童発達支援事業・放課後等デイサービスのアレコレ意見交換会」

テーマ：何が変えたい？何が変えられる？現状を少し知ったうえで、みんなで意見交換しましょう！

※場所の関係上40名を超える場合は入場制限する場合がありますのでご了承ください。

相談支援事業障がい者生活支援センターあっとわん 春日井市からの委託事業です

相談支援電話 **0568-91-5557**

面接・電話相談のどちらも対応いたします。面接をご希望の方は、事前に予約をいただくとゆくり時間を確保できます。お子さんの育ちのこと、発達のこと、ことばのこと、子育てをされていると「どうして？」と思えることがたくさん出てきます。子育て支援をベースにご相談に応じていますので、気軽にお電話いただけるといいかと思えます。

また、就学や就園のこと、進学のことをご相談の応じますので、まずは、お電話ください。



ゴー! ゴー! ツインズ!!

ある双子ママのヒミツ②
服部由貴

双子がいると、いろいろなものを2人分用意します。肌着やチャイルドシート、ベビー布団…。その中で準備が楽しかった物は、双子用ベビーカーです。まさに「ツインズ」という感じがして、わくわくしました。ご存知の方もいると思いますが、双子用ベビーカーは横並びタイプと、縦で前後に座るタイプがあります。私は迷わず横並びタイプを選びました。理由は単純、「かわいいから」。横並びで座る双子の姿はきっとかわいい!と思ったのです。…がしかし、実際使ってみると、なかなか扱いづらいシロモノでした。一番困った事は、スーパーのレジ通路を通れなかったとき。横並びなので幅を

取ってしまい、お会計できませんでした。レンタルビデオ店、かわいい雑貨屋さんなんかでも店内通路が狭いので無理。せっかく来たのに〜と悔しかったです。また操作するのにコツもありました。道路が少し斜面になっていると、その方向に引っ張られてしまいます。双子用ベビーカーなんてもうイヤ…そう感じ始めた時、乗っている双子を見て「かわいい〜。」と言ってもらったことがありました。なんだかとても励まされました。今ではもうすっかり乗らなくなったベビーカーですが、楽しいことも残念だったことも、見る度にしみじみ思い出しています。

水玉ぴとちゃん



発達に気になる子の 遊びを考える わーくしょっぷ

参加者募集

子どもは、見たり触れたり動いたり想像したり、いろんな遊びを通して思考能力、感受性そして社会性を豊かにしていきます。発達が気になる子どもの中には、それがうまく吸収できない子どもも少なくありません。そこで、なぜそうなるのか? からだのメカニズムを知り、「感覚的経験(遊び)」を広げるワークショップ(体験型講座)を開きます。参加者が楽しんで学び、より良い支援につなげていただけたらと思います。

平成26年3月14日(金) 10:00~12:00、15日(土) 10:00~15:30

受講料: 6000円(2日間) 会場: NPO法人あっとわん事務局内(サンマルシェ南館B1F)

定員: 15名 対象: 2日間参加できる大人の方

わーくしょっぷ隊長: 下村真由美(愛知県発達障害支援指導者)

●1日目: 基礎知識編「からだの発達と感覚統合」 ●2日目: 体験・実践編「あそび体験とあそび創り」

申し込み: NPO法人あっとわん 0568-92-5481(月~金9:30~17:00)

あっとわんの Facebook ページができました!

<http://www.facebook.com/npoatone> イベントなどの様子をアップしています。

あっとわんのホームページが新しくなりました!

<http://npo-atone.jimdo.com>

ブログも
読んでね!

代表理事 河野弓子のブログ <https://blog.canpan.info/npoatone/>

東部子育てセンターのブログ <http://blog.canpan.info/atone-toubukosodate>

かわのゆみこ

と良いかと考えています。

まだまだ寒さはありますが、春の訪れを感じる瞬間が増えてきました。春になると、なんとなく気持ち緩んで何かを始めようたくなるのではないのでしょうか。私は毎日時間に追われることも多い生活で、1分単位で段取りを組んでいくことも多いのが現実です。これも慣れかもしれませんが、思わぬ出来事で予定が変更になることもあります。▼こんな時、大人だとその対処法もある程度身に付いていて、気分的には良くないけれども方法は知っています。反対に子どもはその対処法がわからないだけに、どうしていいかわからないため、泣きわめいたり怒ったり、大人にとって「気分の悪い」行動しか見えないことがあります。▼子どもは、自分ではどうしようもできないような感情に對峙する経験をしながら、方法を身に付け社会性を身に付けていくわけですが、そこに必要な要素は「想像力や「記憶力」というものがポイントになります。子どもはほっといても育つだけではなく、こういう要素を意識しながら、見守ることが現代では必要になってきています。関わりすぎや干渉のし過ぎは良くありませんが、子どもが勝手に学ぶことにも限界がある世の中になっっているのは確かです。そんなことを、考える時間もある

あっとわん春秋

NPO法人あっとわん は、「自立する市民の場づくり」を基本理念とする、子育て親(女性)支援とまちづくりを主な事業とする法人です。

子育て中の女性を応援し、少しでも元気と安心・自信を持っていただけると嬉しく思います。障がいのあるなし、年齢に関わらず子育てを考えます。

事務局 春日井市中央台1-2-2 サンマルシェ南館B1F ラポール親と子の支援センター TEL&FAX 0568-92-5481(月~金 9:30~17:00 土日祝休み)

春日井市東部子育てセンター 春日井市中央台2-5 サンマルシェ・アピタ館B1F TEL&FAX 0568-92-7757(月~土 9:00~17:00 日祝休み)